

災害発生から 2 週間 関川村災害 VC 支援から 10 日が経過しました

8 月 3 日からの線状降水帯による豪雨で新潟県の関川村や胎内市、村上市に甚大な被害が出ております。被害に遭われた皆様に、お見舞い申し上げます。

日本防災士会・新潟県支部は、新潟県災害ボランティア調整会議(新潟県社協主催)の要請により、8 月 9 日より関川村災害ボランティアセンターを支援して 10 日が経過いたしました。

支援人員: ボランティアセンターの支援スタッフとして毎日 3 名程度を新潟県支部から派遣

支援物資: 土嚢袋 3,000 枚(日本防災士機構・日本防災士会) 400 枚(新潟県支部)

タオル・雑巾 新潟市内の自治会などから(ワゴン車 1 台分)



大量の雑巾とタオルを新潟市の自治会で集めて支援物資として持ち込んでくれた長濱防災士



不足していた土嚢袋が、日本防災士機構と日本防災士会から支援物資(土嚢袋 3,000 枚)として届く

これまでの経過

8 月 4 日 災害発生

8 月 7 日 新潟県支部事務局長:成川と学校防災教育推進部長:古俣で、被災地の関川村、村上市、胎内市の防災士や防災組織を訪問し支援ニーズや現地状況の把握した。

8 月 8 日 関川村災害ボランティアセンター稼働開始

新潟県社会福祉協議会より当会に関川村災害 VC への支援の要請

8 月 9 日 新潟県支部防災士 4 名を派遣

以後、毎日新潟県支部より 3 名程度を派遣し、8 月 19 日(金)で延べ 30 名に達しました。

新潟県報道資料 第 10 報(8 月 9 日) 新潟県災害対策本部より抜粋

○関川村災害ボランティアセンター

- ・ボランティアセンター設置済
- ・県社会福祉協議会からセンターへスタッフ、コーディネーターを派遣(5 日～)
- ・県内市町村社会福祉協議会からのスタッフ派遣(7 日～)

・県災害ボランティア調整会議構成団体(日本防災士会新潟県支部)からスタッフ派遣(9 日～)



出展：関川村HPから 8.4と8.11の比較写真

関川村災害ボランティアセンター派遣防災士の一日の流れ

7:30 関川村災害ボランティアセンター全体ミーティングに参加



全体ミーティング



資材班ミーティング

8:30 資機材の在庫数量確認

9:00～12:00 現場の作業内容に合った資機材等を準備してボランティアの送出し

随時 搬入支援物資などの受入・整理・整頓や新規機材の組立など

14:30～17:00 ボランティア撤収時の資機材の数量確認 資機材の清掃

